

主治医: _____ 病院 _____ 先生 _____

兵庫医科大学病院 小児外科(主治医 _____)

経過	外来受診～入院前	入院中	退院後
日時	月 日 ()		退院日 月 日 ()
患者目標	治療方針について理解出来る。 入院の準備ができる。	合併症が無い。	胃瘻トラブル無く過ごせる。
検査	採血 胸部レントゲン 心電図 呼吸機能(可能であれば行います。) 麻酔科外来受診(月 日)	採血を行います。胸腹部のレントゲンを撮ります。	
内服薬	服薬中の薬はすべてお持ちください。抗凝固剤を内服していないか確認してください。抗凝固剤の内服は中止です。	病院主治医より指示があります。 抗痙攣剤については手術当日の朝迄内服可能です。 手術当日夜から内服を再開します。	退院時報告書をご参照ください。
食事 (栄養剤注入)	自由に可能です。 普段通り注入して下さい。特別な栄養剤があればお持ちください。	手術前日夜以降絶飲食です。	手術後2日目より水分・3日目より栄養剤の注入が可能です。詳しくは退院時報告書をご参照ください。
点滴		術後より24時間持続点滴です。 抗生剤は1日のみです。	
入浴	普段通りに可能です。 可能な方は入浴・シャワー浴などで、手術部位を清潔に洗浄して来て下さい。	全身清拭です。	手術前からシャワーや入浴をしていた方は通常7日目頃からシャワー浴、14日目頃から入浴が可能です。
処置		腹部膨満が強い場合は浣腸をします。 手術後と退院前にガーゼの汚染が無いか確認と傷の消毒をします。	術後3日目以降は原則消毒は不要です。 胃瘻周囲が汚染している場合は、濡れたガーゼで優しく拭いた後乾燥させて下さい。
排便	便秘の方は下剤の使用や浣腸を考慮し、排便を確認して来て下さい。	必要時投薬で対処します。	便秘時は下剤・浣腸で対処して下さい。 下痢時は先ず栄養剤注入速度を遅くして下さい。 改善が無ければ投薬を考慮下さい。
その他	患者家族への説明をお願いします。 入院・手術に必要な物品の確認をお願いします。 (腹帯1枚・バスタオル1枚・タオル数枚・紙オムツ入院中使用分・入院誓約書) ご不明な点は、兵庫医科大学病院外科外来 0798-45-6250 迄お問い合わせください。		

注1) 診療内容等は現時点で考えられるもので、今後検査等を進めていくにしたがって変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

病名 _____

症状 _____

推定される入院期間 3 日間

説明医師署名 _____ () _____

診療科 小児外科 2010. 3. 24 作成
27002-00